

## イ 生物相の回復効果調査

### 【調査内容】

緑化をしたことによる生物相の回復の実態を把握するため、毎週月・金曜日に動物の飛来・植物の生息状況の観察を行い記録しました。

### 【調査結果】

調査開始時の平成14年度から毎年、生物種の増加が見られ、緑化による生物相の回復効果が確認されました。

#### ○観察された昆虫等（23種類）

バッタ・アトウガネ・トンボ・クモ等、年々観察される種類が増加し、飛来したものの中には植物を食害するものも確認されました。



オンブバッタ



アゲハチョウ

#### ○観察された植物（15種類）

イネ科・キク科のものが大半で、セイタカアワダチソウ、オオアレチノギクが当初優先し、3年目には、オランダミナグサが確認されました。適宜除草を行った為、緑化植物を被圧するほどには至りませんでした。



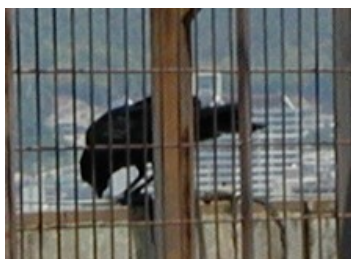
オオアレチノギク



オランダミナグサ

#### ○観察された動物（4種類）

動物は、鳥類のみ確認されました。カラスが多く、水のあるK区画でよく見かけられました。



カラス



セキレイ

#### ○メダカの育成状況

K区画の水空間でメダカを放流し、無管理の状態で観察を実施しました。2年目は個体数が20匹増加しましたが、3年目には減少し2~3個体観察され、捕食等の影響も考えられますが、無管理状態でも生育は十分可能であることが確認されました。

